【草花の部屋】

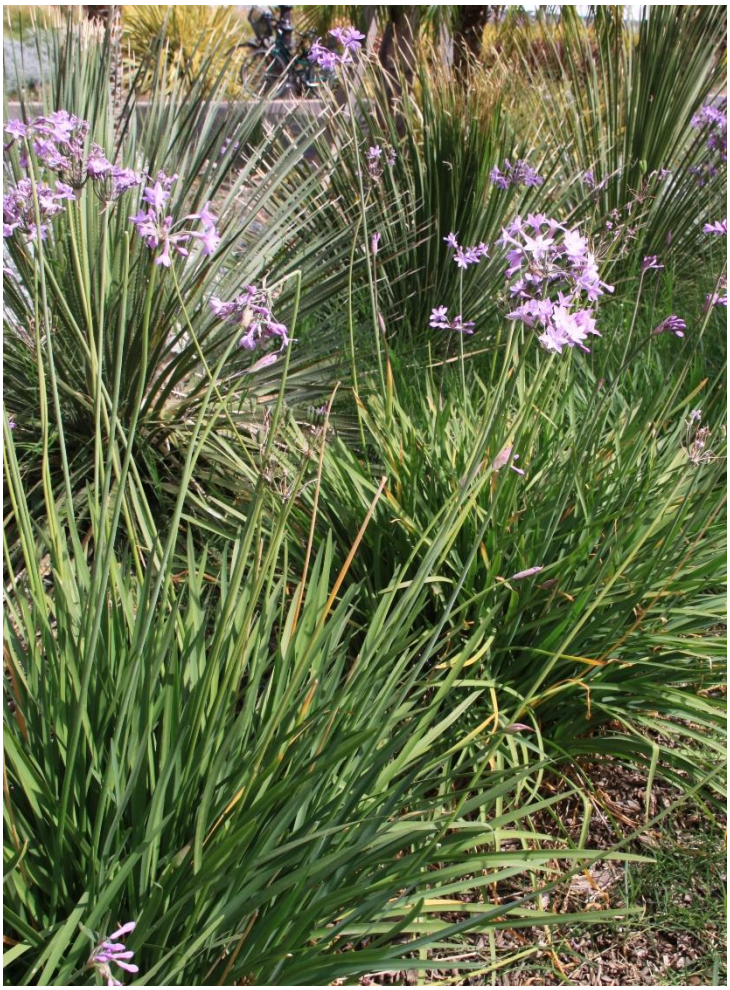
ハナニラ（ヒガンバナ科ハナニラ属　Ipheion uniflorum ）

和名：ハナニラ(花韮)　別名：イフェイオン、　　英名：Spring star

キジカクシ目　多年草　　原産地：アルゼンチン

花言葉：悲しい別れ、耐える愛、卑劣、恨み、星に願いを

花の色：　白、桃、黄、青



← 写真-１　ハナニラ
撮影日：2016 年 05 月 25 日
撮影場所：アルベール一世公園
(フランス・ニース)にて
撮影者：Ｍ　さん

↓ 写真-２　ハナニラの花
撮影日：2016 年 05 月 25 日
撮影場所：アルベール一世公園
(フランス・ニース)にて
撮影者：Ｍ　さん

ニースの市街散策に出かけた際、ニースオペラ座への近道として横断したアルベール一世公園で見かけました。雑草のようでしたが、薄紫色の花が気になり、近寄ってみると、ハナニラのようでした。日本でも、よく目にする植物ですが、背丈が高いので・・。帰国後、調べた結果、やはりハナニラでした。

日本では、明治時代に園芸植物(観賞用)として導入され、逸出し帰化したそうです。葉にはニラやネギのような匂いがあることからハナニラの名があるそうです。食用野菜のニラ（学名 Allium tuberosum ）は同じ亜科に属しますが、

別属です。球根植物ですが、繁殖が旺盛で植えたままでも広がります。ニラに似た葉を数枚出し、さらに数本の花茎を出し、白から淡紫色の６弁の花を花茎の頂上に１つ付け、地上部が見られるのは開花期を含め春だけ。この６弁の姿を「地上の星」と例えられることもあるそうです。

ハナニラは食べると中毒を起こす ので要注意です。命にかかわるような、強い毒性ではないそうですが、ひどい下痢を起こします。体力の弱い お年寄りや子供 は、下痢が続くことで、脱水症状を起こしてしまい、危険な状態に陥ることも考えられるそうです。

＜ ちょっと一言 ＞

ハナニラはネギ科やユリ科で記載されている書物もあります。今回は、Wikipedia の記載を引用しました。